

英語科学習指導案

単元名「 Our New Friend 」

令和元年10月1日(火) 第5校時 多目的ホール

T1: 教諭 ○○ T2: ALT ○○

I 単元の構想

1 身につけさせたい資質・能力および生徒の実態

	身につけさせたい資質・能力	生徒の実態
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	場面や目的に合わせて疑問詞を使い分け、間違いを恐れず、相手に伝わるように第三者を紹介したり、積極的に質問したりしている。	授業中の挙手や発言を積極的にできる生徒が少ないが、友達同士のコミュニケーション活動やペアワークにおいては、習った英語を用いて積極的にやりとりをすることができる。
表現の能力	人称代名詞を正しく用いて、第三者について紹介し、その人物に対する自分の思いを伝えたりすることができたり、複数の疑問詞を用いて質問したりすることができる。	ペアワークでは、既習事項を用いて短い簡単なやりとりを続けることができるが、会話の内容を広げられず、限られたフレーズのためのやりとりになってしまう傾向がある。
理解の能力	第三者について紹介されたことや友達に尋ねられたことを正しく理解し、適した応答ができる。	十分に慣れ親しんでいる短い表現については、正しく理解し、コミュニケーション活動等において生かすことができるが、長い文章や応用的なやりとりになると、苦手意識を感じる生徒が多い。
言語や文化についての知識・理解	これまでに学習した一般動詞の疑問文をもとに疑問詞を置き換えて新出表現を活用できる。	ペアワーク等でのやりとりのなかでは、活用できている表現であっても、書く活動やテストの問題等では正しく活用できない生徒が多い。

2 目標

日本の有名人を新しく来たALTの先生に紹介したり、有名人について質問したりする活動を通して、人称代名詞と複数の疑問詞について理解することができる。

3 評価規準

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度（ア）】

相手に伝わるように質問をしたり、わからないことを聞き返したりしながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。

【表現の能力（イ）】

第三者について人称代名詞を正しく用いながら、英文で書いたり、スピーチしたりすることができる。

【理解の能力（ウ）】

友達やALTが第三者について紹介したことや質問したことを理解し、的確にやりとりをしている。

【言語や文化についての知識・理解（エ）】

人称代名詞や複数の疑問詞の意味と用法を正しく理解している。

4 単元計画および指導方針

時	学習活動	評価	指導方針
1	ALTによる、有名人の紹介を聞いたり、「ALTに日本の有名人を紹介する」という単元のゴールを理解する。	(ア)	外国語活動で扱われた既習表現を用いて紹介をすることで、活用できる表現を例示する。 ALTのデモンストレーションによって単元のゴールをイメージさせ、単元を通して目的をもった活動ができるようにする。
2	紹介したい有名人について、イメージマップを作り、有名人について説明する英文を作る。	(イ)	外国語活動で扱った表現をFree Talking等で扱い、本単元で用いる疑問詞を使う場面を想起させ、本時の活動に生かせるようにする。 JTEが作ったイメージマップから英文を作ることで、既習事項を生かした英文が作れるようにする。
3	人称代名詞についてまとめる。	(エ)	紹介文で用いられた表現の意味を確認しながら、用例と併せて理解を深められるようにする。
4	友達が紹介する有名人について尋ねる疑問文を作る。	(イ)	再度、ALTのスピーチを聞かせ、紹介される有名人について質問したいことをイメージできるようにする。 各自で質問を考えさせたあと、ALTとJTEのやりとりを見せ、質問する内容ややりとりの仕方のヒントを与える。
5 本時	友達とのコミュニケーション活動を通して、それぞれの疑問詞の用法について理解を深める。	(ウ)	前時で提示した疑問詞や人称代名詞などをわかりやすく提示し、やりとりを通して意識すべき文法事項の理解を深められるようにする。
6	複数の疑問詞についてまとめる。	(エ)	前時までに出てきた、紹介で用いた英文をもとにして、やりとりと文法項目を結びつけられるようにする。

7	紹介した有名人について、詳しくわかる紹介文を書き、発表したり質問したりする。	(イ)	複数の紹介文を例示しながら、低位の生徒でも、自分なりの英文が書けるよう配慮する。
---	--	-----	--

Ⅱ 本時の学習

<ねらい>

友達から紹介される有名人について詳しい情報を聞き出す活動を通して、複数の疑問詞の用法について理解する。

学習活動	指導上の留意点	
	JTE	ALT
1 Warm up (10分) - あいさつ - ルーティーンワーク - Free Talking Topic: Weekend - めあてを確認する。 <単元のめあて> ○○先生に日本の有名人を紹介しよう <本時のめあて> 友達が紹介する有名人について、いろいろな情報を聞き出そう。	- JTEとALTのデモンストレーションによって、本時の活動を理解できるようにする。 - 生徒同士のやりとりを観察し、代表ペアのやりとりを全体に見せたり、ALTとのやりとりを見せたり参考にできるようにする。	- JTEとALTのデモンストレーションによって、本時の活動を理解できるようにする。 - 代表生徒とFree Talkingをして、コミュニケーションポイント等を意識できるように手本を示す。
2 1st Activity (20分) - 教師のやりとりを見ながら、活動内容を把握する。 - ペアになって、好きな有名人を紹介し合う。 - 質問の仕方や疑問詞の使い方についてペアやグループで考える。 - 紹介された有名人について情報を聞き出す質問をする。 - 質問の仕方や答え方についてふりかえったり、修正したりする。 3 2nd Activity (10分) 1st Activityで用いた質問を生かし、他のグループの友達とやりとりをする。 【評価規準】 友達やALTが質問したことや答えたことについて、的確にやりとりをしながら疑問詞の用法を理解する。〔ワークシート・観察〕	- ALTの有名人の紹介を聞きながら、質問の仕方を例示する。 - デモンストレーションをすることで疑問詞の意味を類推できるようにする。 - スムーズにコミュニケーション活動ができない生徒には、前時に考えた疑問文や板書を確認させ、やりとりができるようにする。	- 好きな有名人についてJTEに紹介し、質問に答えるデモンストレーションを示し、本時の活動を理解できるようにする。 - ペアのやりとりを聞きながら、質問の仕方などについてアドバイスする。 - 全体のコミュニケーション活動を観察しながら、自分自身が本当に聞きたいことや例示していない疑問文を使って、生徒とコミュニケーションを図る。
4 まとめ (10分) それぞれの疑問詞を用いて何を尋ねられたか確認しながら本時の授業をふりかえる。	生徒から出てきた答えに応じて、答え方を確認したり、疑問詞だけを入れ替えて、疑問詞の理解を深められるようにする。	生徒から答え方が出てこないときには、答え方の手本を示す。

【板書計画】

<単元の GOAL>○○先生に日本の有名人を紹介しよう。

Today's GOAL

友達が紹介する有名人について、いろいろな情報を聞き出そう。

Where



is he from?
she

When



is his/her birthday?
do you listen his/her songs?
do you watch his/her TV programs?

Who



is he/she?